

IH マルチコンロの紹介

茨木 孝典 (いばらぎ たかのり) (株)フジマック 営業本部 次長

1. はじめに

電化厨房という言葉が意識的に使われ始めたのはいつ頃だろうか。それは旧来の厨房に対比して使われてきており、当然ながらその特徴は旧来の厨房を改善するよう意識したものとなる。それらは、クリーン、安全、高効率化、環境改善、経済的、操作性の向上などであり、製品開発もこれらに主眼を置き、磨きをかけてきた。

さらにここ最近の製品開発は単なる電化ではなく電気の特性を生かした製品の開発が主体となっており、顧客の潜在的な要望を取り入れた開発へと進んでいる。

そんな状況の中で、この度、東京電力株式会社と共同開発した「IH マルチコンロ」について紹介する。

は、価格の低減についてこそ年々、成果を見せ始めてはいるものの、どれも似た仕様形態で、顧客の多様な要望に充分応えるものはなかなか見ることができない。

そんな要望のひとつに、多くの個別オーダーに対して省スペースで対応できるIHコンロというものがあった。従来のIHコンロは仕込み等の用途では、過不足なくその役目を果たすが、個別オーダーに対する仕上げ工程においては、火力・機器サイズともにやや持て余し気味となっていた。そんな要望に応えるのが



写真 1 IH マルチコンロ (6口タイプ)

2. 製品紹介

2.1 IH マルチコンロ開発の背景 (写真1)

IHコンロは、旧来の厨房におけるガスコンロと同様、電化厨房においてなくてはならない存在である。しかし、現在各メーカーから販売されているIHコンロ

表 1 サイズの比較

	現行のIHコンロ (フジマック製FIC354525)	IHマルチコンロ (フジマック製FIC69606)
インプット	2.5kW×6(2.5kWが6台)	1.3kW×6(1台)
外形寸法[mm]	W1050×D900×H150 (1台W350×D450×H150)	W690×D600×H300
		